

開講科目名 Course	租税法研究演習 2 年（関岡先生） / Seminar on Tax Law
時間割コード Course Code	18001
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 3
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	2,3,4
主担当教員 Main Instructor	関岡 誠一
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	4 5 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	関岡 誠一（法学部）
授業の目標	広い視野に立った幅広い基本的知識と租税法に関する専門知識を基礎として、高度の専門性が求められる職業を適切に行い得る能力を有していることが実証される修士論文を完成させる。
授業の概要	修士論文の完成に向けた作業。
評価方法	修士論文の完成度合い。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし。
授業計画	授業の概ねのスケジュールは次のとおり。 1) 4 月：研究計画書の完成 2) 5 月：論文構成（案）の完成 3) 6 月～10 月：初稿に向けた作業 4) 11 月～12 月：最終稿に向けた作業 5) 1 月：修士論文の内容についての精査
テキスト	研究テーマに応じたもの。
参考書	研究テーマに応じたもの。
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当する
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	修士論文を論述作業であるため、実務経験を活かしたものとはならない。
質問への対応方法	適宜。
フィードバックの方法	適宜。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	修士論文の完成のためには、1 日 2 時間以上の作業を要する。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	